

第5回基幹病院等連携強化実行会議  
(H29.10.2) 議論の概要について

## 議題1 第4回基幹病院等連携強化実行会議(H29.7.26)議論の結果について

- 第4回基幹病院等連携強化実行会議において検討した議題及び各メンバーのご意見を再確認した。

## 議題2 難治性・希少性疾患の集約実績について

- 平成28年12月から特定の病院へ集約することとされた疾患(難治性てんかん, 角膜移植を必要とする角膜疾患, 再生不良性貧血)の平成28年12月から平成29年5月までの集約実績について報告を行った。
- 各メンバーからの意見として, 以下の発言があった。
  - ・ DPCデータからデータを抽出した場合, 入院していない患者は含まれておらず, また, 最も医療資源を投入した疾患となり, 疾病名とは異なるため, 正確ではない数値となってしまふ。次回からはデータの取り方を工夫すべき。

## 議題3 ワーキング・グループの状況について

- 8月に開催した第2回循環器医療体制検討WGでの議論・検討の内容について報告を行った。
- 9月に開催した第4回小児医療体制検討WGでの議論・検討の内容について報告を行った。

## 議題4 病院等の連携強化を進めるための運営体制パターンについて

- 病院等の連携強化を進めるための運営体制パターンについて, 一般的に考えられる8パターンの説明を行った。
- 先進地視察の視察結果について報告を行った。
  - ・ 埼玉県立小児医療センター及びさいたま赤十字病院(隣接立地の先進地として)
  - ・ 徳島県立中央病院及び徳島大学病院(隣接立地の先進地として)
  - ・ 高知医療センター(統合(一部事務組合)の先進地として)

## その他 有識者意見聴取

- 西田在賢氏  
(公立大学法人県立広島大学大学院経営管理研究科ビジネス・リーダーシップ専攻教授)
  - ・ 静岡県立大学の附属機関である医療経営研究センターに勤務していた当時の, 静岡県内の病院の実情や, それを踏まえたその後の病院再編や医療経営改革の取組についてお話しいただいた。
  - ・ イギリスにおける国の財政破たん後の財政立て直し政策としての病院経営改革や, その後のイギリスの病院の運営形態についてお話しいただいた。